

活動テーマ

「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」を合言葉に、 みんなで取り組むエコ・スクール活動

実践事例について

油日小学校がエコ・スクール活動に取り組んでずいぶん長くなった。コロナ禍を経て、多くの行事が見直されたが、油日の環境学習は、ビオトープを核として家庭・地域・地元企業と連携し、継続して行うことができた。

学級エコ宣言を核にしたエコ活動、総合的な学習の時間を中心にした自然体験活動、児童会エコ委員が中心になってのイベントを継続して行うことができた。

1 学校の概要

油日小学校は、滋賀県南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、多くの生物が観察できる場になった。一昨年末に導入したトレイルカメラによって、ビオトープに来ている生き物を観察することもできるようになり、子どもたちの関心が高まっている。

また、どのようにきたのか上流にサワガニが見つかり、その後少しずつ増えている。

2 活動の実際

(1) 地域と連携した活動

ア 3年生「めざせ！薬草博士」

毎年と同じように「くすりのまち甲賀町」のビオトープとして、シオノギ製薬（株）油日植物園の皆さんの協力を得ることができ、薬草園、在来種園を整備することができた。3年生は地域種の薬草である「アイ」を栽培した。9月に朝摘みした生葉を使い、たたき染めと絞りを加えた青汁染めに取り組んだ。また、社会見学で植物園を見学し、植物の特長を学ぶことができた。甲南高校のバイオとかがく系列の皆さんに薬草ビンゴで楽しみながら薬草について教えていただいたりもした。



イ 6年生「地域再発見」

6年生も、シオノギ製薬（株）油日植物園の皆さんの協力で6月にムラサキを植え、12月に掘り起こし、薬学習館で紫根染めの体験をした。家

庭科の「お世話になった人へのプレゼント」の材料とし、自分で染めた布を使って卒業制作としてプレゼントづくりをしている。

また、滝区ササユリの里づくり委員会と連携しササユリの保存活動に参加した。甲南高校でバイオによる培養体験をしたりササユリの植え付けをしたりした。



ウ 4年生「森林のひみつ」

4年生は、やまのこ学習で、地域の生産森林組合の方の協力を得て、学有林の見学、地域の山での間伐の見学、枝打ち・玉切りの体験をした。地域の方から「木を育てるには長い年月がかかること、先祖から受け継がれて守っていること」を聞き、地域の良さを感じる子が多くいた。

エ 5年生「稲作体験」

5年生では、地域の山下さんや保護者さんに教えていただき、田植えや稲刈りを体験した。その際、機械での作業も見ていただき農業の進歩と課題について考えることができた。

オ 全校 環境フェスティバル

エコ・スクール活動を学校だけで終わらせないように家庭と連携した活動として環境フェスティバルがある。本年度は、10月21日（土）に開催した。各学年のPTA学級委員さんの半数にエコ支援委員として登録していただき、その方たちに支援していただき活動をしている。

【環境フェスティバル活動内容と支援、地域連携】

- 1年…アサガオのつるを使ってのリース作り
(保護者ボランティア)
- 2年…ひつつきむしを使った絵・虫クイズ
(エコ支援委員)
- 3年…ビオトープでの生き物見つけ
(ラーゴ株式会社専門員)
- 4年…丸太切り、木切れを使ったクラフト作り
(油日・上野生産森林組合)
- 5年…微生物観察、空き缶を使った飯ごう炊さん
(中本先生、保護者)
- 6年…親子油日岳登山
(保護者、甲賀山岳会)

以上の活動内容を多くの地域の方と連携することで行うことができている。

オ 全校 ビオトープを訪れている生き物紹介

ビオトープを訪れている生き物は、子どもたちが近づくと逃げる。または、子どものいない夜にやってくる。そこで、トレイルカメラを仕掛け生き物調査をして、昇降口で流した。興味津々で眺めていた子が多くいた。



(2) エコ委員会の活動

エコ委員会は、全校にビオトープの自然に楽しんで触れてもらえるようにしたいという思いから昼休みにゲームを取り入れた観察会やイベントをした。暑さで計画通りにできない月もあったが、春から秋のビオトープの自然を全校に知らせる活動に取り組んだ。

5/23,25 春の自然で遊ぼう 参加人数 86人

今年度初の観察会は、シロツメクサのくさり作り、カラスのエンドウでのピーピー笛作りをした。上学年の子たちが下学年にシロツメグサのくさりの作り方を教えている姿が多く見られた。

6/23 赤ちゃんを見つけよう 参加人数 117人

栗や柿の赤ちゃんを見つけたり、トンボの幼虫を見つけたりする活動をした。また、オオバコのスジとり遊びをゲーム化することでたくさんの子が興味を持って参加できた。

7/10~19 ビオトープに住んでいる虫を見つけよう

参加人数 78人

トンボやカエルのほか、クワガタを見つけている子がいた。数年前から、クワガタが夏のビオトープで見つかることが多い。今年度、腐葉土を作るための入れ物を作っていたので、カブトムシが卵を産んでくれないか待っている。

10/4~秋の虫をさがそう 参加人数 92人

暑さのために活動日が10月になってしまい、オスが少なかった。しかし、そのため、オスを見つけようと鳴き声を頼りに一生けん命になっている子がたくさんいた。また、エンマコオロギの他、ミツカドコオロギも多くいたのでその違いに気づきやすく楽しんで観察できた。

10/17 ザリガニの住み分けをしよう

参加人数 23人

児童総会での住み分け活動に参加したいという願いを受けて、池の下流で目立ってきたザリガニの住み分け活動をした。ザリガニを移動させられなくなったことを話し、敷地内のザリガニ池で飼うことを伝えて、ザリガニ採りをした。



11/1,2 秋あそびをしよう 参加人数 81人

環境フェスティバルでオナモミの収集が難しくなったため、学校園で栽培を始めた。そのオナモミでの的当てゲームをした。どの子も楽しんで活動できていた。同時に、クヌギのどんぐりを使ってこまづくりをした。こま回しの競争コーナーを担当する子もいたので、楽しめた。いろいろな種類のどんぐりを見つける子もいた。

(3) 各学級の取り組み

ア. エコ宣言

5月8日エコ宣言集会が行われた。校長先生のキックオフ宣言と各学級で考えたエコ宣言を発表し、全校で写真を撮った。エコ宣言は、昇降口の掲示板に1年間掲示していつも意識できるようにしている。各学級からは、ビオトープなど自然に関する宣言、ものの使い方や整理整頓に関する宣言が出された。12月の終業式で中間発表としてできたことを発表した。

イ. 児童総会

6月21日の児童総会は、各学年で油日小児童会の3つのスローガン「エコスクール・ゆめスクール・元気スクール」の実現のためにしたいこと、するといいことなどを話し合って発表した。発表された質問や意見には、各委員会や先生方から回答をもらった。

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp